

計画

ダイコンの根っこを見てみたい！

学校法人岩崎学園 くりの木幼稚園（千葉県柏市） [5歳児]



<事前の様子> 毎年秋に種蒔きをするダイコンについて、A児が「ダイコンの根っこ（食べる所）はどのくらいになったら採っていいの？」という質問をしたことをきっかけに、プランターの代わりに中が見えるように水槽に種を撒き、ダイコンの根が伸びていくのを見ることにする。「芽が出たりしたら先生に教えるね」「（ダイコンの根が底まで伸びたら）元気が良くて水槽突き抜けちゃうかもね」「ダイコンの花なんて白に決まってるじゃん！」などと興味津々で話し合う。

	子どもの様子	読み取り
発芽 発見	<p>発芽すると、子どもたちは「先生、芽が出たよ」「上に見えてるのはちっちゃいの」に土の下の根っこは凄い」「細いけど根っこの先は水槽の下に付きそうだ」「根っこって霜柱みたい」「葉っぱはハートみたいな形だ」と伝えに来る。</p> <p>観察をしながら「お水あげたい」「水槽に水溜まって大丈夫なのかな？」「あげすぎないように気をつければ？」「霧吹きでシュッシュッてやるくらいなら平気だよ」「水は毎日あげる？」「中に水が溜まったらダメなんじゃない？」と話し合う。</p>	<p>* 自分なりの意見や疑問を出し合っていた。</p>
脱皮？ 疑問・探求	<p>ダイコンの絵本（農山漁村文化協会出版）の中のダイコンが脱皮するという記述を子どもたちが見る。「野菜が脱皮するなんて聞いたことない」「脱皮は昆虫とかじゃないから絶対にしないね」「脱皮して何かに変身するのかな？」という声がある。</p> <p>水槽の中のダイコンの間引きを兼ねて、実際に抜いてみると「本当に脱皮するんだ」「皮が破ける感じ」「弾けて破れたみたいだ」「なんで皮脱ぐんだろう？」「中から太るんじゃない？」「身体が大きくなって洋服が着れなくなったみたい」「脱いだ皮が紫色してる！色も変わるんだ」「何回か脱皮するんじゃない？ザリガニとかもいっぱい脱皮するし」「ニンジンとかも脱皮するのかな？」などいろいろな発見がある。</p>	<p>* 絵本で見たり、職員から得た情報をもとにして想像したものを実際に見たりして確認していた。</p>
確かめる・比較	<p>水槽のダイコンに比べて畑に種を蒔いたダイコンの生長は著しく、花が咲き、実が付いている。子どもたちは「畑の方が100倍でっかい」「畑の方が広いし、栄養いっぱいなんだよ」「花はちょっと紫色っぽいね。真っ白だと思ってた」と言う。</p> <p>実を試しかじってみると辛く、「ペロがピリピリする」「食べるとダイコンの味がするよ」「これが種になるんじゃない？」「違うよ、種はダイコンの中にできるんだもん」「キュウリみたいにいっぱいできるんだよ」「キュウリも中は種でいっぱいだよ」様々な意見が出たので、育てたダイコンを食べるついでに中身を確認する。</p>	<p>* 目で見る、触れる、味わうなど全身と五感を総動員して「そうか！なるほど！」という体験をたくさんして欲しい。</p>
探求・発見・疑問	<p>「ダイコンの種は中にできるのか」確認のために、食べるダイコンを包丁で切る。「中に種無いね」「これから種ができる感じでもない」「花の後にできたやつが種なんじゃない？」「あれがさ、カラカラに乾くと種になるんだよ」という意見が出る。</p> <p>「花が咲いた後にできるのか」畑のダイコンの種らしき物？を確認することになった。種らしき物？が乾いた後、子どもたちと割ると、中に茶色い粒々を見つけ「これ種だよね？」「ダイコンの種ってちっちゃいんだね」「これ埋めたらダイコンになるの？」などと話し合う。</p>	<p>* 新しい疑問が生まれたようなので採取した種からダイコンが育つか子どもたちと再度検証をしたい。</p>

ポイント

「例年秋に種蒔きの栽培活動をしている」という実践を重ねている状況から、栽培環境が計画的に確保されていることがわかります。栽培に必要な土や肥料、様々な用具はもちろん、時期に応じた栽培物の種や苗などを準備した上で、子どもたちが進められるように工夫しています。子どもの疑問を大切に「土の中の様子が見える水槽」により、子どもたちは意欲的に環境にかかわり、興味や観察、思考を深める体験をしています。